

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (四国)	◎	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・店頭売上は減少したが、外商売上の増加で前年を大幅に上回った。
	○	一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・個人用の贈答品の売上が増加している。物価高騰のため単価も少しずつ上昇している。年明けから小規模店の開店が増えている。
	○	スーパー（企画担当）	単価の動き	・商品単価の上昇が続き来客数、買上点数は引き続き前年を下回っているものの、売上は増加しているが、利益的に厳しい状況である。
	○	旅行代理店（部長）	お客様の様子	・物価高対策への支援金等の動きが活発化しており、関連業務が専門業者に委託されるのではないかとみられる。
	○	通信会社（営業部長）	販売量の動き	・正月から成人の日がある3連休において販売数量が増加しており、その後の来客数も減少していない。
	□	商店街（代表者）	それ以外	・デフレからインフレに変わり、金利のある世界への過渡期であるが、地方においても、徐々に実感している。駅を中心とした街づくりは進まない一方、グローバルな経済環境は激変の時代になっており、取り残された地方都市にならないよう変化を期待する。
	□	商店街（常務理事）	来客数の動き	・衆議院選挙において、各党が消費税減税を訴えていることから、期待を抱く人は多いものの、本当に実施されるのかと疑問視する声も多く、当面の景気には影響はないとみられる。
	□	一般小売店〔文具店〕（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べ、注文数は例年どおりである。ただし、今年に入り、メーカーから資材高騰や日中関係の影響により、材料値上がりの連絡が来ている。そのため、今後は心配だが、今現在は順調で品物はよく売れている。
	□	百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・インバウンドは今まで以上に厳しい状況である。国内需要は相次ぐ値上げで物価が上昇しており、顧客の購買意欲が高まらない。
	□	スーパー（店長）	販売量の動き	・商品の値上げにより単価は上昇しているが、買上点数が伸び悩んでおり、売上増加につなげていない。
	□	スーパー（店長）	販売量の動き	・12月は年末に向けて節約傾向にあったが、1月は若干の回復がみられる。しかし、買上点数は相変わらず低迷しており、大きな変化はない。
	□	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・悪天候の影響により、正月の営業は苦戦した。客の節約志向はより顕著となっている。
	□	スーパー（人事）	販売量の動き	・ドラッグストアとの買い分けや無駄遣いの抑制など、食料品に関しては節約傾向がみられ、販売点数は前年割れとなっている。
	□	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・付与ポイントを増やす販売促進日のまとめ買いが継続し、その傾向が顕著になっている。
	□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数は前年より減少しているが、物価高騰による客単価上昇で売上は前年を上回っている。客単価上昇頼みのこの状態がいつまでもは続かないとみている。
	□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・セールを行っているが、寒波の影響もあり、売上は低調である。一方で厳しい状況であった2～3か月前と比べると売上は改善している。
	□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・百貨店での初売りセールは好調だが、路面店舗は来客数が減少している。
	□	家電量販店（店員）	販売量の動き	・初売りのセールも売上が増加せず、閑散期に入り販売量が伸び悩んでいる。
	□	家電量販店（副店長）	販売量の動き	・全般的に前年比107%で推移している。特にパソコンは前年比110%、白物家電が前年比108%と好調に推移している。徐々にではあるが、新生活の客も増加している。
	□	乗用車販売業（営業担当）	販売量の動き	・販売停止車両が多く、販売できない。また、マイカーローンの金利が上昇し買い控えが起きている。
	□	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・受注は安定的に推移している。

	□	その他小売 〔ショッピング センター〕（館 長）	来客数の動き	・飲食、土産中心に引き続き好調を維持している。インバ ウンドについては、中国の団体ツアーが元々少ない地域なので 影響は限定的である。
	□	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・物価の上昇により節約傾向が話題になっている。当社でも 客単価が低下し低価格の商品が選ばれる傾向にはあるが、来 客数は増加している。
	□	タクシー運転手	お客様の様子	・3か月前と比べて余り変化はないとみられる。客からは、 小遣いが少なくなった、賃金が上がらないという声が多く聞 かれる。また、会食の機会が少なくなったという声もある。
	□	観光遊園地（主 幹）	来客数の動き	・前年同月比で来客数の推移に大きな変化はなく、同水準を 維持できている。
	□	美容室（経営 者）	来客数の動き	・寒い日が続いたこともあり、余り客が動いていないとみら れる。
	□	美容室（経営 者）	お客様の様子	・特に変わらないが、客との会話では物価上昇の話題や不満 の声が多い。
	□	設計事務所（所 長）	単価の動き	・建築業者は建築単価の上昇により売上が増加しているが、 設備投資をする企業にとっては大きな負担であり、社会全体 ではプラスマイナスゼロであるとみられる。
	▲	商店街（代表 者）	来客数の動き	・寒い日が続いており、来客数が減少している。例年より遅 く百貨店が1月3日に初売りを行ったことも商店街には影響 があった。
	▲	商店街（代表 者）	単価の動き	・年末年始で客が活発になる時期だが、そのような状況に なっていない。ガソリン価格は低下したが、その他の商品は 値上がりする一方で、消費者の収入が上昇しないため、客も 堅実な行動を続けている。寒波の影響で物流も停滞し、商品 の入荷が遅れ気味である。
	▲	スーパー（統括 担当）	単価の動き	・商品単価は上昇傾向であるが、客単価は減少傾向にある。
	▲	コンビニ（店 長）	来客数の動き	・12月の年末調整や所得税の減税の影響により、手持ちに多 少の余裕が出て消費意欲が上がると期待したが、逆に来客数 の減少と相変わらずの購買意欲の弱さがみられる。
	▲	コンビニ（総 務）	販売量の動き	・売上は前年を超えているが、3か月前と比較すると若干減 少している。
	▲	コンビニ（商品 担当）	単価の動き	・食材、物流費の上昇による商品価格の上昇で客が買い控え している。
	▲	観光型旅館（経 営者）	来客数の動き	・3か月前の繁忙期と比べると閑散期の1月は宿泊者数は減 少している。前年の宿泊者数に比べても若干減少している。 物価上昇により実質賃金が低下しており、消費行動における 選択と集中がより顕著になっているとみられる。
	▲	都市型ホテル （経営者）	販売量の動き	・ホテル旅館の宴会受注が低調に推移している。
	▲	競艇場（マネー ジャー）	来客数の動き	・やや来客数が減少してきているとみられる。
	×	衣料品専門店 （営業責任者）	販売量の動き	・売上は前年比では8％程度減少している。商品単価の上昇 もあり、食料品等の値上がりが大きく、衣料品など、し好品 の購入を抑えている。
	×	その他専門店 〔酒〕（経営 者）	単価の動き	・年末年始の反動でとても悪い状況である。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・冬場で四国遍路関係の仕事は、繁忙期まで1か月程度ある ことから、売上が悪い。
企業 動向 関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	繊維工業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・2025年12月から主力商品の一部を値上げしたが、直近2か 月の売上は横ばいであり、値上げによる受注の減少はみられ ない。特にインバウンド客の需要については、値上げの影響 は出ていないとみられる。
	○	電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・地域の資源をつくりだすことを目的に、竹資源を利用した 脱炭素の仕事をしている。最近では、大手企業や農業事業者 が頻繁に購入するようになったことから、景気は良いと判断 する。

	□	化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・受注量に大きな変動はなく、先行きが不安である。
	□	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・造船部門は需要増加が見込まれるが、産業機械部門は低調のままで推移している。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・物価の動き、金利の動き、政治が不安定である。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共、民間ともほとんど受注がなく、衆議院選挙に期待するしかない。
	□	輸送業（経営者）	競争相手の様子	・衆議院選挙の動向により大きく変わるとみられる。
	□	通信会社（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注額は計画どおり堅調に推移している。
	□	金融業（副支店長）	取引先の様子	・客の受注状況等に大きな変化がない。
	□	不動産業（経営者）	取引先の様子	・大手住宅メーカーと情報交換を定期的に行っており、各社とも建築受注に苦慮し、事業用地の情報が余り入手できていないと聞いている。地元工務店も住宅の新築受注が減り、中古のリフォームが増えていると聞いている。
	▲	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少している。住宅着工も落ち込んでおり先行きの不透明感が出ている。
	▲	通信業（企画・売上管理）	受注量や販売量の動き	・しばらくは前年超えが続いていたが、前月から前年の売上高に届かない傾向が続いている。他社が事業を盛り返してきていることが影響している。
	▲	税理士事務所	取引先の様子	・物価や賃金の上昇により経費が増加している。
	×	—	—	—
	◎	—	—	—
	○	—	—	—
雇用 関連 (四国)	□	人材派遣会社（オフィス責任者）	周辺企業の様子	・人件費の上昇により、業務や人員配置の見直しが続いている。
	□	求人情報誌（営業）	採用者数の動き	・地元中小企業では、新卒採用、中途採用とも難しい状態である。特に大手企業と中小企業との間で人材確保に差が出ている。好条件を出しやすい大手企業は人材は充足傾向だが、大手企業ほどの条件を提示できない中小企業では人材難が続いている。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・物価上昇や最低賃金上昇により、民間企業は厳しい状況が続いている。
	□	職業安定所（求人開発）	周辺企業の様子	・最近の新卒初任給の上昇により、企業によっては人件費の配分効率悪化や既存社員のモチベーション低下、若手人材の定着に影響が出るとみられる。
	▲	人材派遣会社（総務部長）	求職者数の動き	・求職者数の集まりが低調である。
	×	—	—	—